

夏の夜の肱川をいろどる豪華な花火

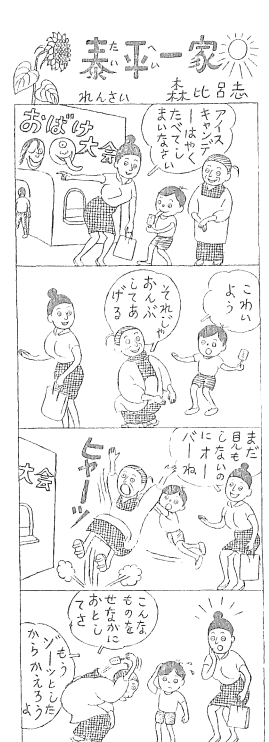
非行は日常補導で

青少年を守る意見と対策

市、警署、市教育委員会は七を防衛(山本野PTA会長)十五日、大洲南中体育館で青少年を守る大会を開き、非行防止の實踐活動(北中山中事故、交通事故の絶滅について)交通安全協会の新支部長(から)を發見意見を發表、そのあとラカードを手に市内をパレードしました。

この大会には、主催者の市長らほか、PTA、愛護班、婦人会、VYSなど十五団体の代表者八百人が参加しました。主催者、来賓が参加した。主催者、来賓のあいさつについて、水の事故

肱川沿いの清掃奉仕
みんなで肱川を美しくしよう
と七月二十八日早朝、肱川沿いのみなさんによって、肱川沿いや臥龍公園、城山公園、龜山公園の清掃奉仕が行なわれました。当日は台風四号の影響もあって、涼味気分がたまり絶好の清掃日和。七時から一時間に、カメラ、クワ、テリ、クマシなど思いの道具公園にしました。



結核と挙式のご相談は

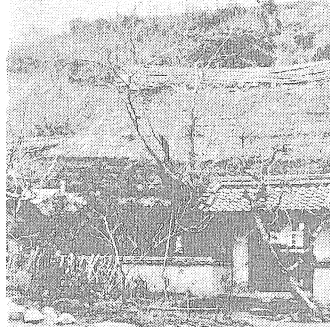
市結婚相談所へ(市公会堂相室)
時間は午前九時から正午までです。
常勤所員 米沢フサノ



村上市長を先頭に600人の市中パレード

川まつりに12万人

八月三、四日の両日、千一回目の川まつり花火大会が、例年に倍して盛大にくりひろげられました。昼はライオン競争、親善野球大会、七夕かきり大会、松竹女優モデルの水着撮影大会など、われこそはと数々の妙技を競いあい披露されました。夜は明治百年を記念してとあって、市民あげての豪華けんらん花火大会がくりひろげられました。この花火大会は地元商店の Sponsor だけでなく、松山、八幡浜をはじめ、県外の大メーカーの協力が得られ、水中金魚、ナイヤガラ、滝、空中アクロバット、大スターマンなどで、空は一瞬七色の花を咲かせました。



大洲市の文化財

大洲市指定史跡

矢野玄道旧宅並びに墓
所在地 阿蔵甲二三〇
所有者 矢野重雄氏
(昭和31年9月30日指定)

維新の大道唱える

維新の大道唱える
生は、身を挺して混戦した時代、ひたぶるに維新の大道を唱えた先生の想とおりにはいかなく返って失望されたことが多かったが、世の毀譽褒貶を度外視して自分の信じた大道へ邁進された態度は、全く常人の及ぶところでもなく五十年に亘る学徳からにみ出た先生のバックボーンに胸打たれるものがある。

日脳汚染地区に蚊の駆除やつかれに注意

厚生省は八日、愛媛県全域を日本脳炎の汚染地区に指定しました。市保健衛生課ではまたまた暑さもつづくので蚊の徹底駆除の個人健康管理の異状者の早期受診を呼びかけています。

観光エチケット

観光エチケット
「観光作文」募集
「観光作文」募集
「観光作文」募集

市内局番「4」つける

市内局番「4」つける
電話をかけるときは、相手の電話番号の前に、必ず「4」をつけてダイヤルしてください。

成人病検診日

8月27日	保子野公民館
29日	上須成小学校
30日	平野連絡所
9月3日	大成小学校
5日	柳沢小学校
10日	新谷公民館
12日	南久米連絡所
18日	南久米中学校
19日	菅田連絡所
24日	八多喜公民館
26日	八多喜公民館

日曜当直医

8月25日	宇都宮小内科	3757
9月1日	城戸眼科	3008
8日	弘内内科	3363
15日	石田産婦科	2347
22日	正岡眼科	2249
29日	藤本外科	2310

- 新刊図書案内
- 千葉省三電話全集
 - 五右衛門風・少年のころ
 - ト馬車・竹やぶ
 - わき坊主・じぞさま
 - ワンマンものがたり
 - 陸奥のあらし
 - 無人島漂流記さ・えら
 - 伝記ライブラリー
 - 教育につくした先覚者たち
 - 遺跡をほりおこした人々
 - 道徳の開拓者たち
 - 辺境を歩いた人々
 - 原子力への道を開いた人々
 - 宇宙のなぞを解いた人々
 - 伝道につくした人々
 - 明治維新につくした人々
 - 悲劇の英雄たち
 - 日本の山に生きた人々
 - 数学をきかした人々
 - 海をなぞる人々
 - 文化の出発点となった人々
 - 航路をひいた人々
 - 美しい音楽を作った人々
 - 東京を築いた人々
 - うたの心に生きた人々
 - 南の島を開拓した人々
 - 日本の農業をつくった人々
 - 作品による児童文学史
 - 出版年鑑 九六八八年版
 - 中江藤樹・熊沢蕃山集
 - 本居宣長・平田篤胤集
 - 世界文学全集35(藤田一士訳)
 - 松山兄弟(吉川英治)
 - 旅兵衛(部 幸岩)校
 - 徳川の人々(吉屋信子)
 - 怒りの像(石原博太郎)
 - 柑橘栽培地域の研究(村上節太郎)
 - 行政改善と実績(行政管理資料調査会)
 - 伊予史略明治百年(同会)
 - 愛媛教育年鑑十九号
 - 人間を育てる心(藤野日敬)
 - シルク紳士まかり通る(石橋治郎)
 - 愛媛の文化第七号 生死の思索(亀井勝一郎)
 - コトヤ民と宗教(鈴木一朗訳)
 - 合理主義(金田雄次)